

メーカー	ニコン・トリプル	機種名	S5、S7、S9 (Autolock、Robotic)
------	----------	-----	--------------------------------

観測方法	TREND-FIELDの設定 (通信条件)	接続方法
1人、2人①	メーカー : 「ニコン・トリプル」 動作設定 : 「S5、S7、S9」	内蔵 Bluetooth

初回使用時に、最新のプログラムのインストールが必要な場合があります。
詳しくは、以下をご覧ください。

https://const.fukuicompu.co.jp/sys_img/support/1682640194.pdf



パネル (TCU) の無い機体もありますが、TREND-FIELDの利用に支障はありません。

TREND-FIELDの観測条件設定

The screenshot shows the '観測条件設定' (Observation Condition Settings) window. It has several tabs: '丸め・動作' (Rounding/Action), 'TS設定' (TS Settings), 'GNSS設定' (GNSS Settings), '対回制限' (Return Limit), and '観測操作' (Observation Operation). The 'TS設定' tab is active.

Under '通信条件' (Communication Conditions), there are two columns: 'メーカー' (Manufacturer) and '動作設定' (Action Settings). The manufacturer 'ニコン・トリプル' (Nikon Triple) is selected, and the action setting 'S5、S7、S9' is chosen. Other manufacturers listed include TOPCON-SOKKIA, TOPCON, SOKKIA, Leica, Nikon, and PENTAX. Other action settings include S6、M3, S6、M3 [ENT], C5, C5 [ENT], FOCUS 35, and FOCUS 50.

On the right side of the '通信条件' section, there are several checkboxes:

- 高速測定を行う (Perform high-speed measurement) - unchecked
- ACK制御 (ACK control) - unchecked, with a value of 20
- TS側の観測ボタンのみ使用する (Use only observation buttons on the TS side) - unchecked
- 出力モードを制御する (Control output mode) - unchecked
- 後視観測時、0セットを行う (Perform 0 set during rear observation) - checked
- アクティバターゲット (Active target) - unchecked, with a channel value of 1

Under '接続条件' (Connection Conditions), there are fields for:

- ポート (Port): COM1
- 115200,n,8,1,なし (Baud rate, parity, data bits, stop bits, flow control)
- Bluetooth 接続 (Bluetooth connection) - checked
- 未設定 (Not set)
- Bluetooth 設定 (Bluetooth settings)
- PIN コード (PIN code)

At the bottom, there are buttons for '通信確認を実行' (Execute communication check), '新しい機種を自動設定' (Automatically set new device), '設定の切替' (Switch settings), 'OK', and 'キャンセル' (Cancel).

メーカー	ニコン・トリプル	機種名	S5、S7、S9 (Autolock、Robotic)
------	----------	-----	--------------------------------

観測方法	TREND-FIELDの設定 (通信条件)	接続方法
1人、2人①	メーカー : 「ニコン・トリプル」 動作設定 : 「S5、S7、S9」	内蔵 Bluetooth
初回使用時に、最新のプログラムのインストールが必要な場合があります。 詳しくは、以下をご覧ください。 https://const.fukuicompu.co.jp/sys_img/support/1682640194.pdf		
パネル (TCU) の無い機体もありますが、TREND-FIELDの利用に支障はありません。		

【機種の見分け】

ニコン・トリプルのS5、S7、S9では“Autolock”と“Robotic”のラインナップがあり、TSにアンテナが付属している機体が“Robotic”で、アンテナ無しが“Autolock”です。
ただし例外があり、S5の旧モデルはアンテナで見分けることができません。
旧モデルでの見分け方は、アンテナの根元にプラスチックテープが付く機体が“Autolock”で、テープが付いていない機体が“Robotic”です。

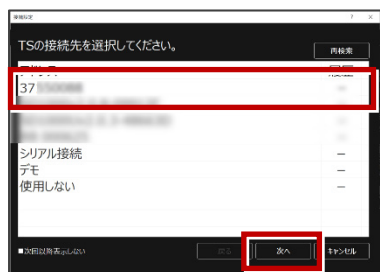
1 TREND-FIELDで、観測を実行します。

※ ここでは「現況観測」で説明します。



2 「簡単接続」が表示されます。

「36xxxx」「37xxxx」、「38xxxx」のいずれかを選択して [次へ] をタップします。



3 「自動設定」が表示されます。

「ニコン・トリプル」: 「S5、S7、S9」を確認し、[OK] をタップします。



器械点設置時に電子気泡管が表示されるため整準してください (ここで電子気泡管ダイアログを閉じて整準をせずに先に進むことも可能です)。

以上でTREND-FIELDとの接続は完了です。

メーカー	ニコン・トリプル	機種名	S5、S7、S9 (Robotic のみ)
------	----------	-----	--------------------------

観測方法	TREND-FIELDの設定 (通信条件)	接続方法
1人、2人②	メーカー : 「ニコン・トリプル」 動作設定 : 「S5、S7、S9」	無線機

初回使用時に、最新のプログラムのインストールが必要な場合があります。
詳しくは、以下をご覧ください。

https://const.fukuicompu.co.jp/sys_img/support/1682640194.pdf



パネル (TCU) の無い機体もありますが、TREND-FIELDの利用に支障はありません。

TREND-FIELDの観測条件設定

The screenshot shows the '観測条件設定' (Observation Condition Setting) window. It has several tabs: '丸め・動作', 'TS設定' (selected), 'GNSS設定', '対回制限', and '観測操作'. The '通信条件' (Communication Condition) section is expanded, showing a list of manufacturers on the left and action settings on the right. The 'メーカー' (Manufacturer) list includes TOPCON・SOKKIA, TOPCON, SOKKIA, Leica, ニコン・トリプル (highlighted), Nikon, PENTAX, and その他. The '動作設定' (Action Setting) list includes S6, M3; S6, M3 [ENT]; C5; C5 [ENT]; FOCUS 35; FOCUS 50; and S5, S7, S9 (highlighted). On the right, there are checkboxes for '高速測定を行う', 'ACK制御' (with a value of 20), 'TS側の観測ボタンのみ使用する', '出力モードを制御する', '後視観測時、0セツを行う' (checked), and 'アクティブターゲット' (with a channel of 1). Below this is the '接続条件' (Connection Condition) section, which includes a 'ポート' (Port) dropdown set to 'COM1' and a text field containing '115200,n,8,1,なし', a 'Bluetooth 接続' (Bluetooth Connection) checkbox, and a 'PINコード' (PIN Code) field. At the bottom, there are buttons for '通信確認を実行', '新しい機種を自動設定', '設定の切替', 'OK', and 'キャンセル'.

メーカー	ニコン・トリプル	機種名	S5、S7、S9 (Robotic のみ)
------	----------	-----	--------------------------

観測方法	TREND-FIELDの設定 (通信条件)	接続方法
1人、2人②	メーカー : 「ニコン・トリプル」 動作設定 : 「S5、S7、S9」	無線機
初回使用時に、最新のプログラムのインストールが必要な場合があります。 詳しくは、以下をご覧ください。 https://const.fukuicompu.co.jp/sys_img/support/1682640194.pdf		
パネル (TCU) の無い機体もありますが、TREND-FIELDの利用に支障はありません。		

【機種の見分け】

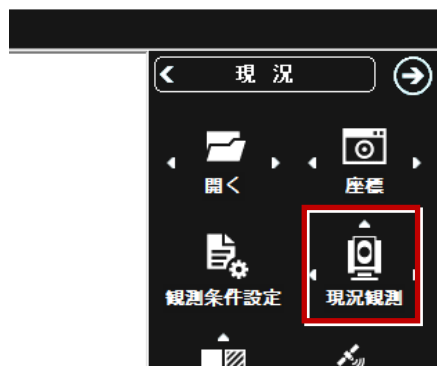
ニコン・トリプルのS5、S7、S9では“Autolock”と“Robotic”のラインナップがあり、TSにアンテナが付属している機体が“Robotic”で、アンテナ無しが“Autolock”です。
 ただし例外があり、S5の旧モデルはアンテナで見分けることができません。
 旧モデルでの見分け方は、アンテナの根元にプラスチックテープが付く機体が“Autolock”で、テープが付いていない機体が“Robotic”です。

1 無線機とTSの電源を入れ、無線機の [ペアリングボタン] を点滅するまで長押しします。(点滅でペアリング状態)

※ [ペアリングボタン] の長押しは、初回接続時のみです。



2 TREND-FIELDで、観測を実行します。
 ※ ここでは「現況観測」で説明します。



▼ 次頁へ

「簡単接続」が表示されます。

「RB xxxxxx」を選択して [次へ] をタップします。



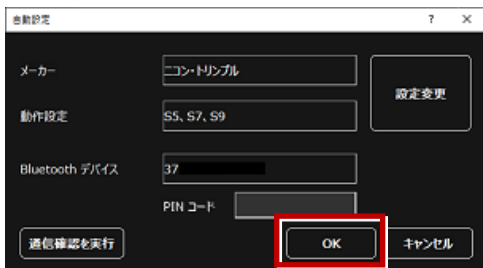
「自動設定」が表示されます。

メーカー : 「ニコン・トリプル」

動作設定 : 「S5、S7、S9」

が自動設定されます。

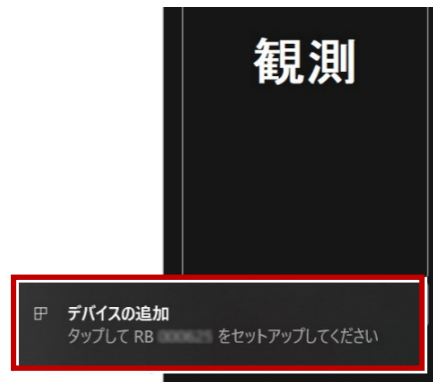
[OK] をタップします。



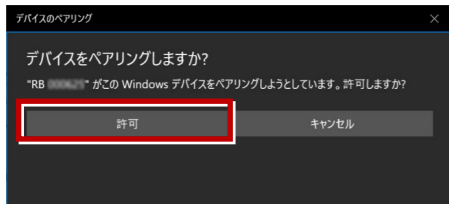
以上でTREND-FIELDとの接続は完了です。
初回接続の場合、次ページを確認してください。

※ 以降の操作は初回接続時のみです。

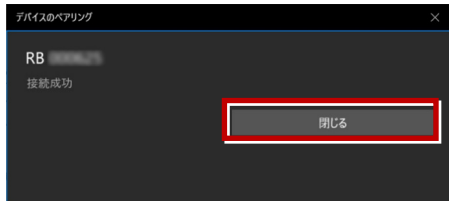
TREND-FIELD の画面下に表示される
「デバイスの追加」をタップします。



「デバイスのペアリング」で [許可] を
タップします。



[閉じる] をタップします。



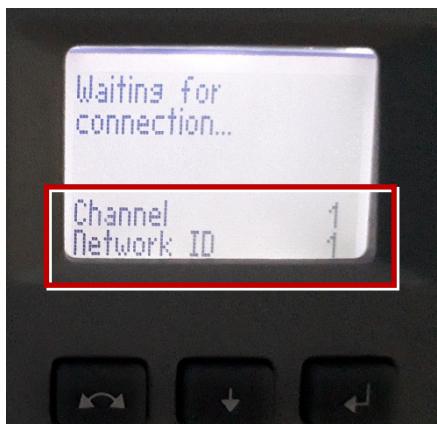
以上で初回接続時の操作は完了です。

【S5、S7、S9の確認】

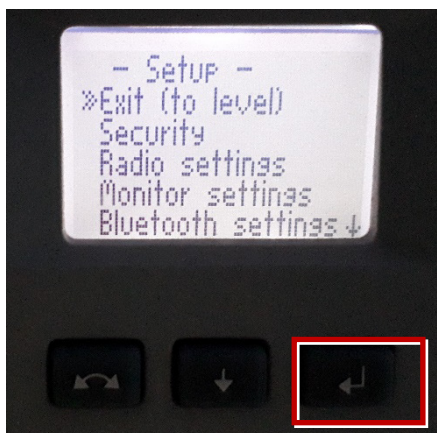
二コト・トリプルS5、S7、S9を「無線機」経由で接続する場合は、本体の「Radio channel」と「Network ID」を確認してください。

- 1 TSの電源を入れ、フロント側のパネルを確認します。

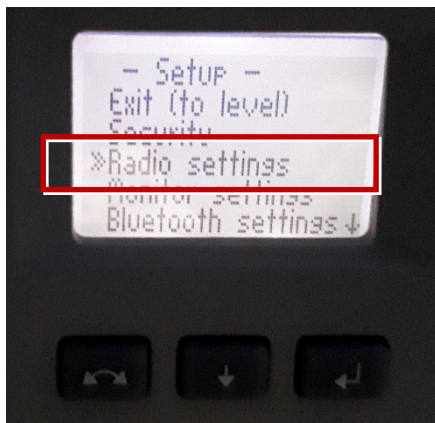
「Radio channel」が「1」
「Network ID」が「1」
であれば、そのままOKです。



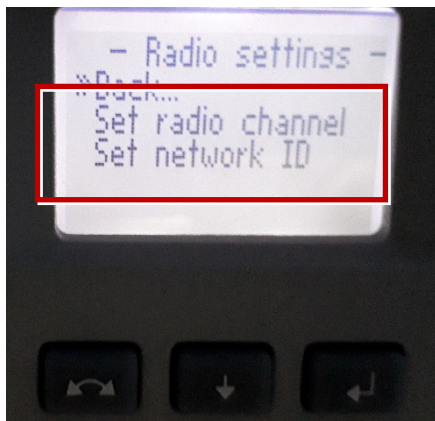
- 2 「Radio channel」と「Network ID」が「1」以外の場合は、以下の手順で変更します。
[Enter]（改行）ボタンを押して、メインメニュー（Main Menu）を表示します。



[↑] [↓] ボタンで「Radio Parameter」を選択して、[Enter] を押します。



[↑] [↓] ボタンでカーソル位置の数値を「1」に設定して、[Enter] で確定します。



【アクティブターゲット】

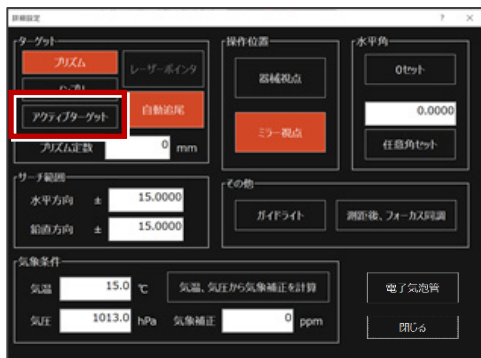
ニコン・トリニットのSシリーズにて視準用のターゲットのアクティブターゲットが使用可能です。

(右図はT-360SL LED ターゲットの例)

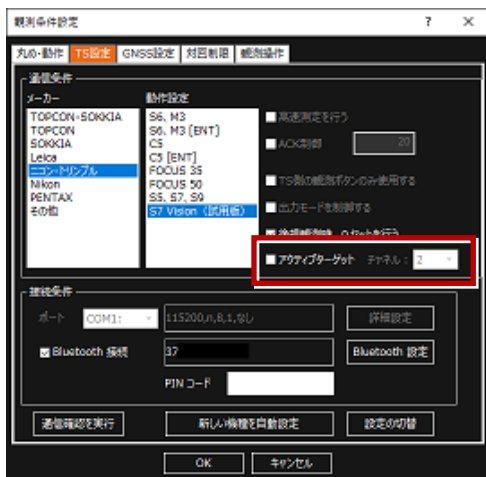
アクティブターゲットを現場で使用することで、他の反射物に干渉せず視準することができます。アクティブターゲットを使用する場合の手順を解説します。本機上部にチャンネル設定のダイヤルがあります(下図)



1 観測条件設定にてニコントリニットS系を選択すると“アクティブターゲット”チェックボックスが表示されるため、チェックONとしてください。また、チャンネル選択のコンボボックスにてチャンネル番号を指定してください。



詳細設定ダイアログ



2 TSと接続した後に詳細設定ダイアログや自動視準観測ダイアログにてアクティブターゲットを指定することで、ターゲットを切り替えることが可能です(右図)



自動視準観測ダイアログ